

## 第 10 回 データベース接続 (INSERT)

### ★課題 10－1 (ファイル名:kadai10\_1.php)

入力画面から、「入力内容の確認」ボタン押下時に、次のページに遷移するように設定しましょう。

サーバーサイドスクリプト演習 1

データベース登録

商品番号

※商品番号は自動採番 (入力不可)

カテゴリ

価格

ピザ

商品名

登録

一覧・検索画面へ

■データ形式：POST

■送信先：kadai10\_2.php

### ★課題 10－2 第 1 段階 (ファイル名：kadai10\_2.php)

DB 登録処理を行いましょ。 (入力値チェックと加工は後ほど行います。)

- ① 入力画面より送られたデータを変数に格納する。
- ② DB 接続処理
- ③ **SQL 文の準備と実行 ←ここが前回とは最も異なる部分です。**
- ④ DB 切断処理
- ⑤ 結果を画面に表示しましょ。

「登録完了しました」

## ★課題 10 - 2 第2段階（ファイル名：kadai10\_2.php）

DB 登録の前に、入力値のチェックを行いましょう。

① 入力画面より送られたデータを変数に格納する。←ここで入力値のチェックを行いましょう。

また、カテゴリの値がテーブルの現行データに沿うように加工すること。

プルダウンの GET データの値と、現在の DB の値を各自で確認すること。（HTML と DB の復習を兼ねて）

② DB 接続処理

③ SQL 文の準備と実行 ←ここが前回とは最も異なる部分です。

④ DB 切断処理

⑤ 結果を画面に表示しましょう。

「登録完了しました」もしくはエラーメッセージ

\*エラーメッセージなどの挙動は、サンプルサイトで確認してください。

### 【追加処理】

1. まず、入力値チェックの状態を格納するための配列を追加します。

```
$result = [  
    "status" => true, //エラーがあった場合 true  
    "message" => null, //表示するメッセージ  
    "result" => false, //更新結果(成功した場合 true)  
];
```

2. 各入力値にチェックを追加してください。

エラーとなる場合は、status と message に適宜、値を設定しましょう。

チェック内容は下記の通りにしてください。

## ■商品名

全角もしくは半角の空白があった場合、空にしましょう。

`str_replace`（置き換え対象となる文字、置き換え文字、処理をしたい文字列）

変換後、空であれば、エラー扱いとしてください。

## ■価格

数値である（`filter_input` 関数で取得する際に、型でフィルターを掛ける）かつ、空でない、の条件を満たさない場合は、エラー扱いとする

3. データ挿入は、入力値にエラーがなかった場合のみ、行うようにしましょう。

プログラムを作成または改修した場合は、各自で動作確認のテストを実施すること【重要】